

秋田県国際交流協会
あきた国際交流ネットワーク
〒010-0927
秋田県北秋田町湯5号 秋田県社会福祉会館4階
TEL: 0187-8541181 FAX: 0187-8540100
http://www.aiahome.or.jp
E-mail: aia@aiathome.or.jp

Vol.14
2003年12月

Come on. Communication



© 2001 TBS・BS14ST

2003あきた国際フェスティバル
2003あきた国際映画祭
助成金交付団体のご報告他



あきた国際交流ネットワーク
新マスコットの「くまげら」です。
名前を募集中です！
詳しくはあきた国際ネットワーク事務局まで



AIAクォーターリー





あきた国際 フェスティバル

2003

&

『国際フェスティバル』

10月11日(土)、「2003あきた国際フェスティバル」が遊学舎で開催され、約3000名の来場者がありました。日焼けしそうな秋空のもと、秋田に在住している外国人や国際交流団体が大集合しました。イベントは今年で14回目、広々とした遊学舎を1日丸ごとお借りしました。例年より多く食のブースを盛り込み、誰もが必要で目つき好きな「食べる事」を「観る事」にプラスしました。日本家庭では日本文化体験として和菓子とお茶のお点前も楽しんで頂きました。中庭では各国ブースがたくさん出展され、歌や踊りでにぎわいました。民族衣装を着たスタッフによる、各国雑貨や世界のお茶の紹介もとても喜んで頂けたと思います。

各ブースには文化、環境、人権、音楽、言語や教育など、様々な切り口から地球活動をしている仲間がいます。秋田に居ながらにして、世界中の人々とつながった様な1日でした。

あらゆる違いを受け入れ、地球の現状を知り、楽しさという入り口からより人間への理解や地球への理解が広がり、高まり、深まる事を希望に、これからも交流して行きたいと思っております。来年はよりパワーアップしたフェスティバルになりまますので、ぜひご意見ご協力をお願いします。ご来場の皆様、有難うございました。



ボランティアスタッフ

秋田経済法科大学 村越哲也

僕が、国際フェスティバルに参加しようと思ったきっかけは、というか国際交流に携わろうと思ったきっかけは、安易なことが始まりでした。昔の僕といえば、人と話すのが苦手であり、うまく自分自身を伝えることができませんでした。そんな時、外国の人と知り合い、その人は言葉の壁さえ感じないくらい明るくて僕に接してくれました。その時は自分自身を成長させるため、そして日本文化だけにとらわれるのではなく、もっと世界に目を向けようと考え始めました。その第一歩として国際フェスティバルの参加はとてもいい経験になりました。様々な国の人たちが、それぞれの文化を紹介し、互いに分かり合おうというフェスティバルでした。このような草の根国際交流が、酷い戦争をなくす一つの手がかりだと信じています。



ステージパフォーマンス

和太鼓愛好会 三浦賢吾

様々な人と参加方法があるこの行事は、一言で言えばそれぞれの家庭の味(調)を持ち寄るpotluck party。個性が集まりHarmony(調和)を奏する点では和太鼓にも通じます。国際化は、皆が流暢な英語を話し洋服を着こなせるようになるのではなく、各地域、各人がその特長を活かし、一緒に平和で活発な地球を創っていくことだと思います。そのためにはもちろん異なる文化の理解・語学は相手を知り己を知り、そして自らを磨いていくのに大切なことで、このイベントは大きな意味を持っていると思います。ところで、我々と一緒に生の太鼓の響きを感じたいあなた、このサイトまで。

www.geocities.co.jp/Hollywood-Studio/7645/



外国ブース

国際交流員 アリス・ライト

日本人と外国人が協力して、国際的イベントを開催したことは非常に良かったと思います。秋田は田舎と言われても、やはりいろいろな国の人はいます。秋田の国際化について県民の意識を高めることはこのイベントの大切な目標でした。秋田でも多様に国際化しているということが分かった人が一人でもいたのなら、このイベントはお金に変えられない宝ものになったと思います。少し残念に思ったのはスタンプラリーのことでした。スタンプラリーを早く終了させるため、すぐに次のブースに移動してしまう方が多く、ブースでの交流があまりできませんでした。また、場所が中心部から離れていて、少し分かりづらく、来場者が少なかったように思いました。



フェスティバル反省会より

日程については、日曜日でもいいのでは、という意見もありました。会場については、例年より参加者が少ないように見受けられたのは、アクセスが悪く、シャトルバスが出ていても良かったとの意見もありました。ステージパフォーマンスは、当初音響の良い別館にしましたが、各ブースや中庭に集う参加者との一体感が悪く、午後から急遽屋外正面入り口になりました。次回遊学舎で続ける場合、盛り上がりや一体感をより出すため、中庭をステージにしようとの声多数でした。場所候補としてもいろいろ出されましたが、天候やスペース、内容について検討していく必要があります。一気に会場が広くなったため、スタンプラリーがやりづらかった方が多く、今後会場内誘導やスタッフ配置をより充実させたいと思います。多彩な飲食のブースはどれも大盛況で満足して頂けたと思います。

あきた国際 2003 映画祭報告



『国際映画祭』好評でした!!

去る10月25日・26日の両日、秋田市文化会館において、『2003あきた国際映画祭』が開催され、約900名の入場者がありました。上映したのは、中国『キープ・クール』、韓国『ラスト・プレゼント』、日韓『夜を賭けて』の3作。より多くの人に中国・韓国の“文化”を見て欲しいという主旨で、この映画選定にあたっては、在日各国の方から日本人に見て欲しい映画を聞き出しました。そこからまた実行委員間で選んだ自信作です。しかも、思わぬ協力の申し出があり、『ラスト・プレゼント』の「監督舞台挨拶」を提供する事ができました。ですから、会場のおちこちからずすり泣きや笑い声が聞こえた時は、「楽しんで貰えて良かった〜」と、私が感激させられました。そしてアンケートに、「泣けて・笑えて・心温まる深い映画」との多くの嬉しい感想と、貴重なご意見=「宝物」を頂きました。今年初めての「映画祭」、広報・会場などに課題が残りましたものの、好評のうちに終える事ができましたのも、ひとえに、ご来場くださった皆様やアンケートにご協力くださった皆様、ご尽力くださった関係者の方々のお陰と、実行委員会一同深く感謝しております。皆様に支えられて、また、来年も開催できたら、とそう願っております。有難うございました。



◆◆◆アンケート抜粋◆◆◆

◇ラスト・プレゼント◇
オ・ギファン監督作品(韓国)
<http://www.seochon.net/lastpresent/>

- ・笑いあり、涙あり、夫婦愛がとてよかった。
- ・感動して心洗われた点。素直に生きようと思わせてくれた。
- ・ケンカしながらも相手を思いやっていて、

信頼し合っている感じが伝わった。
・韓国映画は初めてなので、自分の求めているものと違った。



◇キープ・クール◇
チャン・イーモウ監督作品(中国)
<http://www.walkerplus.com/keep-cool/>

- ・国の違いを超えて共感できるところがたくさんあった。久しぶりに大粒の涙が…。
- ・活気ある国の様子が伝わった。
- ・人々の考え方が時代とともに変化していると感じた。
- ・字幕が不鮮明。白い画面に白い文字は実に読みづらい。
- ・カメラアングルがゆれ、コーヒーカップ状態のような気がしました。

◇夜を賭けて◇
キム・スジン監督作品(日韓合作)
<http://www.artone.co.jp/yorukaka>

- ・リアリティーがあり、鋭かった。
- ・ふだん日本人が知らない一昔前の在日(共存している存在として)を少しでも知ってもらえたと思う。(40代 韓国出身)
- ・エネルギー、迫力、やさしい差別、とても痛い。
- ・どろどろした内容で、好んで見たいと思うようなものではなかった。

◇「映画祭」への意見、感想◇

- ・とても素晴らしい企画だと思います。大きくすてきなイベントになることを願っています。個人的に視力ながら宣伝します！初回だからまだ「祭り」という要素は少なく、流しっぱなしという気もしましたが、これくらいの規模がいゆかとも思います。来年も絶対来るので頑張って下さい。
- ・両日とも4本上映できたらうれしいです。
- ・今回初めて見ました。中国・韓国の映画を見る機会がなく、あまり知りませんでした。今後はテレビ等でもその機会があったら見ようと思っています。感動しました。
- ・世界各国の秋田では見られない映画をたくさん見られるようにしてほしいです。
- ・もう少し宣伝してくれるとよいと思う。開催期間をもう少し長めで、上映作品も多ければ内容の濃いものになるのではないかな。作品についての、分析、説明、比較等があればもっと良かったのではないかな。
- ・全く宣伝がされてなくて、盛り上がりに欠けた。作品が良かったのに残念。

◆◆実行委員反省会から◆◆

反省会では、「宣伝」についての改善案が多かったように思います。もうひとつの「反省」事項は、次回は「宣伝」も「実行委員公勢」もはやくから行いたい、という事でした。そして、皆に映画の選定に関わってもらい、実行委員もネットワーク団体も、「私達の映画祭」と感じて楽しく推進できるようにもっていく、との意志です。これを読んでいるあなた、是非、実行委員会に参加して下さい♪



笑いあり、涙あり…
開催していいよね!

『オ・ギファン監督の面白報告』

10月27日(月)、来秋されたラスト・プレゼントのオ・ギファン監督を秋田観光にご案内しました。新作の撮影で連日お疲れの監督に紅葉を満喫して頂くこと、田沢湖見物、雑木の流れる神社、鶴の湯温泉、角館の武家屋敷へ行きました。露天でゆっくりしたいとの監督の希望もあり、我々スタッフのうち若き女性組は露天は「NO!」社年女性組は「ま、いっか。」で、30代の新進監督と入ると覚悟を決めました。しかし露天掃除中。ホッと胸をなでぬき、内湯にそれぞれ入りました。韓国では紅葉の景立ちがあまりないそうで、自然に抱かれた秘湯から出た監督はとてりラックスされていました。湖畔レストランでは青空の光きらめくロイヤルブルーの湖を一望しながら昼食。ポケットから唐辛子チューブを出し、一口ごとにたっぷりつけて食べていました。夜の打ち上げでは、ハートフルで探検心旺盛なお人柄に酔い、是非いつか秋田での口ケも、の声が上がりました。夕食も唐辛子チューブを放さず、我々スタッフもたっぷり美味にお借りしました。ホッとナチュラルなギファン監督、有意義な時間を有難うございました。

ネットワーク事務局長より 遠辺知(スローフード秋田)

フェスティバルと国際映画祭を無事終えることができたことをネットワーク実行委員会並びにAIAの皆さま、そしてボランティアの皆さまに感謝申し上げます。

大成功といわれた昨年の千秋公園から遊学舎へ会場が変更になったフェスティバルは、市中心部から遠隔であること、そして映画祭も初の企画事業ということで、それぞれの集客力が当初から不安視されていました。結果はいかがでしたでしょうか？

私見ですが、それぞれの事業は第1回目のリスクを無事にクリアしたということで、総合的に〇と評価できるのではないのでしょうか。反省点は多々あげられることとは思いますが、一つ一つ解決しながら前進し、ネットワークの絆を強くしていくことが求められてくるものと考えます。

身近に暮らす外国人に関心を持ち、その課題を考えるきっかけとなれば、県民多数の参加を呼びかけたフェスティバル。映画を通して歴史や文化、人生観、倫理観などを学ぶことを目的とした映画祭。いずれも、その開催意義について異論はないものの、その手法については多方面から

のご指摘を分析しながら次年度への布石とすることが大切です。

成功の基盤は、実行メンバーと関係者の一致した目的意識と団結力だと思います。とはいうものの実行委員会、そして事務局の皆さんはいずれもボランティアで事業専属のスタッフではありません。たいへん忙しいなかでの活動にもかかわらず、行動する原動力はその熱意によって支えられているのです(感謝感謝)。一人一人の心の繋がりや信頼感からチームワーク、そして組織力が築かれていくのではないのでしょうか。

事務局では情熱的なスタッフを求めています。各方面から「秋田に元気ができる事業」が期待されています。いっしょに楽しくボランティアしませんか。



ドリーマー ドリーマー

「西アフリカのジェンベがくれた私の夢」

ジェンベアキタ代表
野本 直美



音楽を通して私の気持ちを伝えることが出来ること、お礼申し上げます。さて、私は子供の頃から音楽と仕切ることが大好きで

した。小学生の頃、先生の居ない自習時間はピアノを弾きクラス全員に無理矢理合唱の練習をさせる大変困った仕切り屋さんでした。この仕切りぶりは大人になった今も続いており、現在アフリカの太鼓ジェンベサークルを作るに至りました。山梨、東京からプロのミュージシャンを迎えご指導を頂き、8歳から45歳まで幅広い年齢層の心を射止めました。去年12月第1回目の講習会で、初めて聴く音、リズムに

生徒全員不思議な感動と予感に包まれました。

今まで楽器とは無縁だった人の中には居た筈ですが、ジェンベを叩く事で何か楽しい事に参加でき、又自分も何か伝える事が出来る、表現できると期待してくれた様です。今年12月で1年となりますが、やる気のある若者たちはもうすでに人前でパフォーマンスとして演奏できる様になりつつあります。ジェンベを通して、リズムを叩く人、聴く人の笑い顔が会話となればきっと余計な言葉もいらなくなり、自分の心の目標地点も案外近くにある事に気付けるのではないかと願っています。

この一年で参加した人達の意識もとても変わりました。

人を守る、喜ばせる、役に立ちたい、色々な主張がそれぞれ満ちてきています。社会に出たけれど分からない事だらけの人達が太鼓を通し

て「人」を考える事が出来たのは本当に素晴らしい事です。

私自身色々経験出来たのも言うまでもありません。私の夢はこれから小学生達にジェンベを叩いてもらいたい。自分を思い切り見せる。自分に自信を持つ。人と協力して奏でるリズムに一体感という感動を味わって欲しい。これが達成できたらきっと次に大人になる子供達のお陰で、私達大人は安心して歳をとり、次の時代を頼もしく思い、温かい未来を創造できる。私にこの目標を与えてくれた人達や、力になってくれた友人、そして「ジェンベ」に感謝!



あきた国際交流ネットワーク 「国際交流活動助成金交付事業」



交付団体が決定
しましたので
お知らせします。

団体名	事業名と内容	支給予定額
(社)由利本荘青年会議所	(社)由利本荘青年会議所国際交流事業 韓国梁山市と青少年ホームステイによる相互交流と会議所交流を行う。	500,000
国際交流オープンクラス	食文化シリーズ 餃子教室&トーク 食を通して異文化理解を深める。	53,000
象洞町国際交流協会	前CIR、ALTによるパネルディスカッション 体験談や外国人から見る日本について話し合い相互理解を深める。	360,000
本荘ジュニアカヌークラブ	文化交流と海外コーチ招へい強化練習会 選手レベル向上と、青少年スポーツ交流を行う。	183,000
横手ユネスコ協会	国際交流カレンダーを送る会 不要のカレンダーを収集し、送国へ送り世界各国の文化紹介を行う。	94,000
日中友好協会女性委員会	北海道・東北ブロック交流会 関係者が一同に集い、県内在住の中国人女性や留学生を招き交流する。	250,000
あきた南米交流会	南米贈本運動 図書館等呼びかけ、南米4カ国の老人ホームや日本語学校へ送る。	100,000
秋田県国際交流をすすめる 女性の会 わびえ	わびえスタディツアー-Nソウル 韓国のナプレ園を訪問し韓国女性団体競技会との研修会を開催する。	450,000
秋田ユネスコ協会	世界と語る「他言語ペア・スピーチコンテスト」 日本人と外国人がペアになり、お互いの言葉でスピーチをする。	158,000
秋田NGO情報センター	2003年度全国CDIの集い秋田大会 農・食・まちみこしから「地域発国際協力」へ 県内の自治体やNGO等が世界と関わり、地域の国際協力推進を図る。	440,000
サンバギータの会	フィリピン花嫁の祖国へ異文化理解親善交流の旅 ボランティア団体と今後の国際理解、国際交流及び、支援活動について協議する。	500,000
天王町国際交流協会	クリスマス交流会「ワールドインハートTIA」 在住外国人定住者を交流会に招き、交流を通して相互理解や国際感覚を養う。	50,000
協和町国際交流協会	協和町国際交流協会韓国視察研修 新たに韓国との交流を推進するため、関係団体と協議する。	266,000
秋田にほんごの会	日本語学習が必要な子どもの進路ガイダンス事業 日本語を母語としない子供たちへ、進路ガイダンスを行う。	278,000
スローフード秋田	「韓国スローフード協会」との交流促進ミッション派遣事業 スローフードを通じた国際交流・国際理解を推進する。	201,000
JCFサークル同路人	「春節」行事 「春節」を開催し、県民と在住中国籍県民や留学生との国際理解・国際交流を図る。	65,000

今年度の総会において、新しくあきた国際交流ネットワークに新規加入が決定した2団体を紹介します。

ネットワーク

JCFサークル同路人



“Japan China Friendship
サークルとんるーれん”と読
みます。日本人と中国人、過去
の歴史にいろいろある出来事は
ありますが、お互いにお互い
の言葉を勉強してこれから一
緒に歩いていきましょう、と
いう思いからこの会をつくり
ました。ジョイナスや遊学会にて、日本人には中国語、中国人(留学生や在住者)には日本語の講座を行い、定期的に中国映画の上映などを行っています。日本と中国の真の友好交流を、また双方の情報交換の場となることを目指して、活動をしていきたいと思っています。中国語を勉強したいという人に限らず、どなたでも、いつでも、ぶらっと立ち寄ってみてください。中国、知れば知る程虜になってしまう国なんですよ。

お問い合わせ: 根田(090-6224-1146)

新規加入団体紹介

本荘ジュニアカヌークラブ

水の上に乗って遊ぶ。岸からとは違った風景が見える中で自然と心に癒れあう瞬間。こんな楽しいことをどうして秋田では誰もやらないのか。そう思って始めたこのクラブも4年目になり、指導してきた子供達も全国大会で5位に入賞することができました。お隣、韓国からコーチを呼んで指導してもらったり、またこちらから出かけて行ったり国を超えての交流を通して、少しずつ選手の育成、秋田でのカヌーの普及を目指しています。

お問い合わせ: 村上(0184-24-0747)



イベント案内



●青年海外派遣事業参加募集!

①『さわやかな初秋のバーストオーストラリア生活文化体験&ホームステイ』

期間:平成16年2月22日~3月2日(10日間)

②『大草原のサウスダコタ アメリカ生活文化体験&ホームステイ』

期間:平成16年2月22日~3月6日(14日間)

③『国立マナド大学学生との交流 インドネシア青年交流&ホームステイ』

期間:平成16年2月22日~3月2日(10日間)

④『海外NGO活動視察と学校訪問カンボジア・ボランティア体験』

期間:平成16年2月29日~3月11日(11日間)

⑤『英語を勉強しながら世界の青年と交流イギリス語学研修&ホームステイ』

期間:平成16年2月15日~2月28日(14日間)

⑥『英語を勉強しながら世界の青年と交流カナダ語学研修&ホームステイ』

期間:平成16年2月15日~2月28日(14日間)

締切り:オーストラリア、アメリカ、インドネシア、イギリス、カナダ1月10日(土)・カンボジア1月17日(土)

お問い合わせ:(財)国際青少年研修協会

TEL:03-3359-8421

●地域と学ぶ地球市民

第4回「地域と結ぶ地球市民—持続可能な開発と平和—」開発教育・環境教育や国際理解教育、そして参加型学習の「担い手」となる人材を育成するために、地域の課題や参加型学習に関する研修プログラムを参加型でともにつくります。

日時:1月23日(金)~25日(日)

場所:ウェルサンピア八戸

締切り:1月13日(火)

お問い合わせ:地域と結ぶ地球市民実行委員会/川村

TEL:0178-52-3831

●世界と語るユネスコ・ニューイヤーパーティー

秋田に住む諸外国の人々と市民を結ぶ出会いの場として、共に語り親しみ国際色豊かな集い。例年ここから新しい交流が芽生えています。

日時:1月18日(日)13:30~15:30

場所:秋田ビューホテル

参加費:一般/2,500円・留学生・高校・大学生/1,000円
中学生/500円

お問い合わせ:秋田ユネスコ協会/柳生

TEL:018-834-5729

●第5回あきたロシア音楽祭

①日時:2月14日(土)12時半~

場所:和ピア大ホール(協和町)

②日時:2月15日(日)12時~

場所:アトリエ音楽ホール

お問い合わせ:あきたロシア音楽祭実行委員会/鳥井

TEL:018-845-2620

●書き損じはがき回収キャンペーン

「ユネスコ・世界寺子屋運動」支援のため、はがきを集めて資金化、その善意を途上国に届けます。

日時:1月24日(土)~25日(日)

場所:秋田ニューシティ1F

お問い合わせ:秋田ユネスコ協会/柳生

TEL:018-834-5729

●子どものための国際理解教育プログラム

「ベトナムを知ろう!」

日時:2月15日(日)9:30~12:00

場所:ジョイナス3F

対象:小学校4年~中学校2年

参加費:300円

お問い合わせ:秋田ユネスコ協会/柳生

TEL:018-834-5729

●「多角的視点から考える国際理解」

「地域の国際化」「多文化共生」を様々な角度から考えます。

第1回「開発・国際理解教育」広げよう地球市民の輪

日時:12月14日(日)9:00~16:00

場所:横手市(南部市民活動サポートセンター)

第2回「人権」いっしょにすすめよう!人権

日時:1月17日(土)~18日(日)

場所:小坂町(交流センターセバーム)

第3回「教育」マルチ能力を取り入れた学び方・教え方の実践

日時:2月7日(土)~8日(日)

場所:秋田市(社会福祉会館9F)

お問い合わせ:秋田県国際交流協会/山谷、西村

TEL:018-864-1181

●第12回国際交流カレンダーを送る会

収集したカレンダーを10カ国25団体と米国ユネスコ復帰を祝して、米国デンバーユネスコ協会に送る選別作業と寄贈式。

日時:平成16年1月9日(金)10:00~

場所:横手市明照保育園体育館

お問い合わせ:横手ユネスコ協会

TEL:0182-32-2323

●外国籍児童・生徒のための進路ガイダンス

~子供たちの輝く未来へ向けて~

秋田に住んでいる日本語を母語としない児童・生徒、またその保護者を対象に進学や就職に関するガイダンスを開催します。

日時:平成16年1月17日(土)9:30~15:00

場所:秋田市中心公民館(秋田ニューシティ5F)

お問い合わせ:秋田にほんごの会

TEL:090-7937-5953

募集します!

●情報誌編集スタッフ

情報誌「Come Comm」を作成してくれるスタッフを募集します。これからの秋田を担う国際交流誌を一緒に作りましょう。編集会議にてアイデアを出し合い取材をもとに記事にし、それらをレイアウトして印刷会社へ提出するまでがお仕事です。お気軽にお問い合わせください。

●情報誌への掲載

みなさんからのご意見や記事にできる情報を募集します。こんな情報が欲しい、あのコーナーをもう一度、みんなにこんなことを伝えたい、メンバーを募集したいなどなどたくさんのご連絡をお待ちしています。

お問い合わせ:秋田県国際交流協会/西村・石黒

TEL:018-864-1181

